

授業科目名	中国語 bクラス	科目コード	G0401L16
英文名	Chinese		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	銭 輝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	前期に引き続き、中国語の基礎語法、表現を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、またヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。受講者のみなさんに予習と復習を欠かさず、熱心に勉強してほしい、一年間で基礎的な使える中国語を身に付けることを目指します。			
-------	--	--	--	--

キーワード	基礎文法	作文	応用練習	身につける
-------	------	----	------	-------

到達目標	<p>目標1：正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせるようにする。</p> <p>目標2：中国語で自己紹介、日常的に必要な文章が書けるようにする。</p> <p>目標3：中国人と会話ができる力、異文化理解力を身に付けるようにする。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)		
-----------	-------------------------	--	--

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上		
------------	-----------------	--	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1課～11課の内容の復習	
	【予習】中国語で作文(夏休みのこと・自分の趣味等)	0分
	【復習】習った単語と本文	0分
第2回	第12課 ポイント年月日・曜日の言い方・年齢の言い方	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】カレンダーを見て年月日・曜日の言い方・年齢の言い方	0分
第3回	第12課 ポイント「了」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】「了」の文	0分
第4回	第12課 応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】ポイントの内容を練習	0分
第5回	第13課 ポイント1「時刻の言い方」・ポイント2「時量の言い方」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1・2の内容	0分
第6回	第13課 ポイント3前置詞の「在」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】時刻・時量・前置詞の「在」	0分
第7回	第13課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第8回	第14課 ポイント1「了」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1の内容	0分
第9回	第14課 ポイント2・3「比較の言い方」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイント2・3の内容	0分

第10回	第14課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第11回	第15課 ポイント1 助動詞「可以」・ポイント3	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1・3の内容	0分
第12回	第15課 ポイント2方向補語	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイント2の内容	0分
第13回	第15課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第14回	中間テスト(12課～15課)	
	【予習】中間テスト内容確認	0分
	【復習】中間テスト内容	0分
第15回	第16課 ポイント1「結果補語」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1の結果補語	0分
第16回	第16課 ポイント2・3	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイント2・3の内容	0分
第17回	第16課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第18回	第17課 ポイント1二重目的語を取る動詞	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1の内容	0分

第19回	第17課 ポイント2・3	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイント2・3の内容練習	0分
第20回	第17課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第21回	第18課 ポイント1可能補語	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1内容	0分
第22回	第18課 ポイント2「得」・ポイント3程度補語	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイント2・3の内容	0分
第23回	第18課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第24回	第19課 ポイント1・2	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1・2の内容	0分
第25回	第19課 ポイント3使役を表す方法	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】練習問題	0分
第26回	第19課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第27回	第20課 ポイント1「把」文の使い方	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント1の内容	0分

第28回	第20課 ポイント2・3	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】練習問題	0分
第29回	第20課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第30回	中国語での発表会	
	【予習】12課～20課の内容	0分
	【復習】「作文」タイトルは自由	0分
第31回	期末テスト勉強	
	【予習】テスト勉強	0分
	【復習】テストまとめ	0分
第32回	期末テスト	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	1. 授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2. テストの成績50%
------	--

使用資料 <テキスト>	陳淑梅・劉光赤「実学実用初級中国語」 朝日出版社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	-----------------------------	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずいつでも聞いてください。（424湯研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	フランス語	科目コード	G0401L24
英文名	French		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	4限目 3限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	フランス語 で学習した内容を踏まえながら、さらに複雑なフランス語の表現を学習します。具体的には、未来や過去など、現在以外のことを語る表現について学びます。また、人称代名詞や中性代名詞についても学びます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	初級文法	初級会話	フランス文化	シャンソン	
-------	------	------	--------	-------	--

到達目標	<p>目標1：基本的なフランス語の文章を音読できる。</p> <p>目標2：辞書を使いながら、基本的なフランス語の文章を理解することができる。</p> <p>目標3：現在だけでなく、未来や過去について基本的な文章を理解することができる。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
-----------	---------------------	--

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	
------------	-----------------	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。	
	【予習】	0分
	【復習】動詞の活用について復習しておく。	30分
第2回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。	
	【予習】	0分
	【復習】基本数詞について復習しておく。	30分
第3回	会話「この絵は美術館に来たばかりです」 近接過去venir de について。	
	【予習】	0分
	【復習】近接過去の表現についての復習。	30分
第4回	会話「それを訳してみましよう」 近接未来aller について。	
	【予習】	0分
	【復習】近接未来の表現についての復習。	30分
第5回	補語人称代名詞 「私を（私に）」「あなたを（あなたに）」「彼を（彼に）」などの表現。	
	【予習】	0分
	【復習】補語人称代名詞の用法についての復習。	30分
第6回	会話「座りましょう」 代名動詞の用法。	
	【予習】	0分
	【復習】代名動詞の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第7回	会話「あそこに小さな休憩室があります。」 様々な非人称表現。	
	【予習】	0分
	【復習】様々な非人称表現の復習。	30分
第8回	補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現 補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての演習で理解を深めます。	
	【予習】	0分
	【復習】補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての復習。	30分

第9回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 過去のことを表す。複合過去形。	
	【予習】	0分
	【復習】過去分詞の作り方の復習。	30分
第10回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第11回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第12回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 非人称表現（天候、時刻）。	
	【予習】	0分
	【復習】非人称表現（天候、時刻）の復習。	30分
第13回	「誰かがドアをロックしている」 主語代名詞onの用法。	
	【予習】	0分
	【復習】主語代名詞onの用法についての復習。	30分
第14回	「このバッグはあれよりも高い」 比較級、最上級表現。	
	【予習】	0分
	【復習】比較級、最上級表現についての復習。	30分
第15回	まとめ、これまでの授業の復習。 特殊な形の比較級・最上級。	
	【予習】	0分
	【復習】特殊な形の比較級・最上級についての復習。	30分
第16回	中間試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第17回	会話「ここが最後の会場、ヨーロッパ絵画の会場です」 前出の名詞を受ける指示代名詞の用法。	
	【予習】	0分
	【復習】指示代名詞についての復習。	30分
第18回	会話「それは知りませんでした」 直説法半過去形の用法。	
	【予習】	0分
	【復習】直説法半過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第19回	会話「私たちはそれを誇りに思います」 中性代名詞en, y, leの用法。	
	【予習】	0分
	【復習】中性代名詞en, y, leの用法についての復習。	30分
第20回	フランス文化紹介「印象派絵画」	
	【予習】	0分
	【復習】「印象派絵画」の作者名、作品名についての復習。	30分
第21回	会話「コーヒーを飲みませんか？」 提案・勧誘表現Si + 直説法半過去？	
	【予習】	0分
	【復習】提案・勧誘表現についての復習。	30分
第22回	会話「来た時には私たちに知らせてくださいね」 直説法単純未来の用法。	
	【予習】	0分
	【復習】直説法単純未来の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第23回	会話「私はコーヒーにしたいのですが」 条件法現在の用法。語気緩和。	
	【予習】	0分
	【復習】条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第24回	会話「あなたがいなければ、今回の訪問はさほど楽しなかったでしょう」 条件法現在の用法。事実を反する仮定。	
	【予習】	0分
	【復習】条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第25回	様々な動詞の活用の復習 直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての演習問題。	
	【予習】	0分
	【復習】直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての復習。	30分
第26回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	0分
	【復習】シャンソン(1)の歌詞を読めるように復習する。	30分
第27回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	0分
	【復習】シャンソン(1)の歌詞の日本語訳を考える。	30分
第28回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	0分
	【復習】シャンソン(2)の歌詞を読めるように復習する。	30分
第29回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	0分
	【復習】シャンソン(2)の歌詞の日本語訳を考える。	30分
第30回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)・(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第31回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第32回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	毎回の小テスト (50%)、期末試験 (50%)による総合評価。		
使用資料 <テキスト>	田村弘行『フランス語で<ようこそ>』三修社。	使用資料 <参考図書>	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。		
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。		
オフィス・アワー	木曜日2限。		

授業科目名	ジェンダー論	科目コード	K0602L02
英文名	Gender		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応
------	--------------------------

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識や変化がみられる。ジェンダーの概念はどのような社会のなかで成立し、国・地域の制度や法に影響を与えてきたのだろうか。日本では第4次男女共同参画社会基本計画が閣議決定され運用されているが、「ジェンダー平等」はどこまで実現したか、また、依然どのような課題を抱えているかを考える。			
-------	--	--	--	--

キーワード	ジェンダー平等	ポジティブ・アクシ	男女共同参画	DV	ワーク・ライフ・バ
-------	---------	-----------	--------	----	-----------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな社会現象や法的社会的制度について、ジェンダーの視点から認識できるようにする。 ・これまで普遍的だとされていた考え方に対し、異なる視点があることを理解し、幅広い価値観を身につける。 ・問題が生まれる社会的・政治的背景について考え、これを解決する方法について議論できるようにする。 				
------	--	--	--	--	--

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）
-----------	------------------------

カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養
------------	------------

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「ジェンダー」とはなにか、「両性の平等」原則と現実とのギャップ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向 「男/女」（性別二元論）に基づく社会制度の変更？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	教育 学校教育におけるジェンダー・バイアス、「隠されたカリキュラム」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	家族 現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	契約 「いのちの値段」と男女格差、「レディース・デー」は男性排除？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	労働 男女雇用均等法の歴史と展開、「セクハラ」・「マタハラ」被害と裁判例	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	社会保障 家族モデルの変化と社会保障制度の未来	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	性暴力・その1 刑法上の犯罪の変容	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	性暴力・その2 ドメスティック・バイオレンス（DV）、デートDV、児童虐待	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	産む自由 / 産まない自由 「リプロダクティブ・ライツ」(性的自己決定権)の歴史と内容	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	性表現 ボルノグラフィと「表現の自由」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	政策決定 政治・行政における女性参加、ポジティブ・アクション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	司法 犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダー	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	男性にとってのジェンダ ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現と課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	世界のなかの性差別 持参金制度(インド)、女子割礼(アフリカ諸国)ほか	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業への取り組み（30％）、課題レポート（70％）を総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	犬伏由子ほか編『レクチャー ジェンダー法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくること。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。 		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー			

授業科目名	法学	科目コード	K0203L02
英文名	Jurisprudence		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解		
------	-----------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「社会あるところ法は存在する」(Ubi societas, ibi ius)。法は、特定の時代の、特定の地域における価値観が大きな影響を及ぼす。現代の日本、そして世界ではどのような法が適用され、求められているのだろうか。社会と法の相互作用を確認しながら、将来、教育者や保育者を目指す者にとって必要な法的知識と価値判断について考えていく。			
-------	--	--	--	--

キーワード	家族	契約	紛争と裁判	生命倫理	罪刑法定主義
-------	----	----	-------	------	--------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの教育、保育、福祉に関わることを意識して、最低限理解すべき法分野について学ぶ。 ・裁判員制度の導入をきっかけに身近な存在となった法律について、多角的多面的に考察する。 ・法の成り立ちから、社会制度と法の関係、グローバル社会における法の役割までを理解する。 			
------	--	--	--	--

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力(人間性の向上)	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「法の世界」をのぞいてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	法とは何か 正義との関係、道徳との違い、法の体系	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	家族から考える法 婚姻と離婚、夫婦の権利義務	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	家族から考える法 親子をめぐるルール、相続に関する問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	さまざまな契約 「契約が成立する」とは？ 問題のある意思表示	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	消費生活と法 現代の消費者問題、訪問販売とマルチ商法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	医療と法 生殖補助医療の発展、妊娠・出産の自己決定（リプロダクティブ・ライツ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	医療と法 脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	犯罪と法 突然逮捕されてしまったら？ 犯罪被害と罪刑法定主義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	犯罪と法	少年法の存在意義、「修復的司法」の考え方	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第11回	仕事と法	職場の労働条件はどうやって決まるの？ 採用と雇用の終了	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第12回	仕事と法	仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）、多様な働きかた	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第13回	子どもと法	未成年者の意見表明権、「主権者」による政治	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第14回	子どもと法	児童虐待と犯罪被害者の支援策	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第15回	国際社会と法	「国際法」は法か？ グローバリゼーションと法の変化	
	【予習】		0分
	【復習】		0分
第16回			
	【予習】		0分
	【復習】		0分

評価方法	授業への取り組み（30%）、課題レポート（70%）を総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	丹羽徹編『子どもと法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに今日生起している法的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読むこと。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。 		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養特別講座	科目コード	G0101L09
英文名	Liberal arts of special course		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会生活基礎科目		
------	---------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日		時限	
開講時期	1年・2年・3年・4年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	現代社会では情報技術（IT）の普及により、自分の声、直筆による自己表現や創作活動による表現の機会が減っています。この講義では、上手に自分らしく自己を「表現」することができるためのヒントを提供する機会とします。相手とどのようなコミュニケーション手法が望ましいのか。とりわけ、グローバル化社会において、価値観や言語が異なる世界の人々との交流も含め、皆さんにとって自分らしさの自己表現の在り方を探り、人間力の向上を目指します。各回の講義は、各分野の専門家が講師を務めます。		
-------	---	--	--

キーワード	表現手法	コミュニケーション	人間力		
-------	------	-----------	-----	--	--

到達目標	目標：「自己表現する」ための手法について、さまざまな手法とその特色を知ることができる。 目標：自分の特徴や長所を把握・再発見して、より自分らしい表現方法を身に付けることができる。		
------	--	--	--

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	平成30年2月10日(土)10:00～11:30 CiC3階 「教養特別講義」についてオリエンテーション(現代社会学部 教授 尾畑 納子) 本講義の開設の主旨として、表現の在り方やより良いコミュニケーションについて学ぶ機会として欲しい。 スケジュールについて説明する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	2月10日(土)12:20～13:50 CiC3階 「マナー・しぐさ」とコミュニケーション (前富山国際大学准教授 斉藤 敏子 氏) ことばと態度を融合させた、しぐさやマナーの視点から伝えるコツを聞く。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2月10日(土)14:00～15:30 CiC3階 「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	2月10日(土)15:40～17:10 CiC3階 「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	2月13日(火)10:00～11:30 CiC3階 「ユーモア・笑い」とコミュニケーション(現代社会学部教授 大谷 孝行 氏) コミュニケーションをより良くするために必要な、笑いやユーモアについて考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	2月13日(火)12:20～13:50 CiC3階 「顔の表情」とコミュニケーション (sukai美科学研究所代表、日本顔学会副会長 菅沼 薫 氏) 顔の表情など科学的な視点から講義を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	2月13日(火)14:00～15:30 CiC3階 「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第8回	2月13日(火)15:40～17:10 CiC3階 「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	2月14日(水)10:00～11:30 CiC3階 「芸術文化」とコミュニケーション（富山県民会館館長 山本 広志 氏） 芸術文化の必要性。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	2月14日(水)12:20～13:50 CiC3階 「芸術文化」とコミュニケーション 文化施設の拠点から感動を与える空間づくり。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	2月14日(水)14:00～15:30 CiC3階 「多言語文化」とコミュニケーション（マーク・フランク 氏） アジア地域の言語を通してコミュニケーションの在り方を探る。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	2月14日(水)15:40～17:10 CiC3階 「多言語文化」とコミュニケーション（富山国際大学客員准教授 伊藤 雄馬 氏） アジア地域の言語を通してコミュニケーションの在り方を探る。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	2月15日(木)10:00～11:30 CiC3階 「郷土文学」とコミュニケーション（前富山短期大学非常勤講師・(公財)射水市絵本文化振興財団 評議員 萩野 恭一 氏） 須山ユキエにおける〈雪〉へのあこがれ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	2月14日(木)12:20～13:50 CiC3階 「郷土文学」とコミュニケーション（富山大学非常勤講師 奥野 美友紀 氏） 近世（江戸時代）の俳諧と現代	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	2月15日(木)14:00～15:30 CiC3階 総括（現代社会学部教授 尾畑 納子） 全体の講義を通して、質疑応答・取りまとめを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業時間中の課題（50％）、最終課題レポート（50％）を総合的に評価します。		
------	--	--	--

使用資料 <テキスト>	授業の時にレジюмеや資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	授業の中で指示します。
----------------	----------------------	----------------	-------------

授業外学修等	授業時間に指示された内容について、事前事後（20分程度）に内容を確認しておくこと。 学外講師の都合で各回の順番が変更になることがあることをあらかじめ了承下さい。		
--------	---	--	--

授業外質問方法	講義をしたそれぞれの教員へ直接質問してください。また、email:obata@tuins.ac.jpへ。		
---------	--	--	--

オフィス・アワー			
----------	--	--	--

授業科目名	地方自治法	科目コード	G1201L05
英文名	Local Self-Government Law		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	後藤 智
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	1年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	皆さんはあまり意識していないかもしれませんが、地方自治のあり方は、私たち国民・住民の権利利益(人権)の保障・実現に直結するという意味で、重要なものといえます。したがって、私たち住民・国民の立場からその内容や質が問われねばなりませんし、また、その内容や質を自治体が自主的・自律的に確保するための制度的条件の整備が行われているか等も問題にされねばなりません。こういった観点から、この授業では、憲法上・法律上の地方自治保障の法的意味内容について学ぶとともに、地方自治をめぐる現在の問題状況を認識して、問題解決のための視角を得ることを目指して学んでいきます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	地方自治	住民自治	団体自治	自治権	地方分権改革
-------	------	------	------	-----	--------

到達目標	<p>目標 : 日本国憲法が定める地方自治保障の法的意味内容を理解することができる。</p> <p>目標 : 地方自治法等の現行法制度の下で、憲法上の地方自治保障の理念が実際に実現されているかを、事実即して客観的に認識できるようになる。</p> <p>目標 : 自治体が現在抱えている諸問題を発見し、問題解決のための視角や思考方法を修得する端緒を得る。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	4. 社会人としての能力 (社会性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス この授業の概要、成績評価方法その他注意事項等。 1 地方自治体の諸活動 様々な行政領域に対応した多様な自治体活動（概観）	
	【予習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
	【復習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
第2回	2 地方自治の理念および歴史 (1) 現代国家における地方自治の理念・意義（概説） 「何のため」の地方自治なのか、本来あるべき国と地方自治体の関係・役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2 地方自治の理念および歴史（続き） (2) 大日本帝国憲法下の地方制度 外見的立憲君主制下の地方制度、その問題性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	3 日本国憲法における地方自治保障 (1) 憲法92～95条の規定の内容…二元代表制にも触れながら (2) 地方自治の「本旨」：住民自治と団体自治…その内容と両者の関係	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	3 日本国憲法における地方自治保障（続き） (3) 地方自治の基本原則とヨーロッパ地方自治憲章 近接性原理、補完性原理、全権限性の原則、自己責任の原理、自治体の財源保障等	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	3 日本国憲法における地方自治保障（続き） (4) 憲法上の地方自治保障の性質または根拠に関する学説 伝來說（国家承認説）、固有権説、制度的保障説、新固有権説等	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	4 地方分権改革の推移と現状 (1) 第1次地方分権改革 (2) その後の地方分権改革	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第8回	4 地方分権改革の推移と現状（続き） (3) 地方分権改革の到達点 市町村 = 「総合行政主体」論の当否、地方自治体の規模についての再考の必要性、市町村合併と道州制	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	5 地方自治法の概要 (1) 地方自治法は何を定めているか（概要） (2) 地方自治法上の「地方公共団体」：普通地方公共団体と特別地方公共団体、その他の地方自治の担い手	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (1) 国と地方自治体の役割分担など (2) 地方自治体の事務の区分：地方分権一括法（1999年）以前と以後の違い	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (3) 機関委任事務の廃止と自治事務・法定受託事務 (4-1) 国の関与の仕組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	6 地方自治体の事務と国の関与の仕組み (4-2) 国の関与の仕組みとその問題点 * 国の関与をめぐる事例検討：沖縄での米軍基地建設のための埋立工事の事例など	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	7 地方自治体の自治立法権（条例制定権） (1) 自治体の立法権 (2) 条例制定権の範囲：法律と条例の関係に関する議論	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	8 住民の権利 (1) 住民自治の担い手としての「住民」 (2) 地方自治法上の住民の権利...とくに直接民主主義的権利について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	9 民主主義と地方議会 * 議会の存在意義、現状における問題点など	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>原則として、期末筆記試験（70%）および受講態度（30%）とによって評価します。 ただし、課題提出や授業内での発表を課した場合には、それをも加味して評価を行います（期末筆記試験配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の配点については授業中に明示します）。</p>		
使用資料 <テキスト>	岡田正則・榊原秀訓・大田直史・豊島明子『地方自治のしくみと法』（自治体研究社	使用資料 <参考図書>	白藤博行・後藤智他『アクチュアル地方自治法』（法律文化社、2010年）、芹沢齊他
授業外学修等	<p>授業において配付する資料も多くあります。その配付資料や教科書の該当箇所は必ず事前に読んで、予習ノートを作成するようにしてください。それを元に質問することは大歓迎です。また、当日取り扱う事項についての配付資料は、授業後に、重要な箇所をノートに書き写す等の復習を行ないましょう。 さらに、しっかりと理解ができなかった箇所がある場合には、図書館に向向いて、参考図書や授業で使用しているもの以外の教科書等の文献を参照してください。「自分で調べる」努力が求められます。</p>		
授業外質問方法	<p>メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと考えます。そのほうが、的確に対応できるからです。オフィス・アワー以外の時間でも対応可能なときもあります。これについてはメール等で問い合せてください。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。</p>		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限		

授業科目名	旅行業論			科目コード	G2402L03
英文名	Travel Agency Business				
科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際				
職名	非常勤講師	担当教員名	浦田 美紗		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p>旅行業は観光産業のあらゆる分野と繋がっています。また現在、旅行業は日本や世界の社会・経済・政治の変化やITの高度化、環境問題などに直面し、大規模な変革が求められています。この授業では旅行業の仕組みや事業活動を学ぶとともに、現状の課題を理解し、これからの旅行業の姿についても考えていきます。</p>				
キーワード	IT	インバウンド	地域との連携	サステナブル	
到達目標	<p>目標 : 旅行業の社会に果たす役割を理解する。 目標 : 旅行会社の仕組みと実務について理解する。 目標 : 旅行業の現状と経営課題を認識し、今後のあり方を考える。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、旅行業とは（役割と機能）	
	【予習】特になし	0分
	【復習】旅行者サイドから見た旅行業の役割、機能について	30分
第2回	旅の歴史と旅行業の変遷（日本、世界）	
	【予習】江戸時代における旅の姿	30分
	【復習】日本の旅行業の変遷 平安時代から近代までをまとめる。	60分
第3回	旅行業の現状（旅行マーケットの規模と概要＝国内旅行、海外旅行、インバウンド旅行）	
	【予習】人気の旅行先、ツアーを調査する。	30分
	【復習】旅行業マーケットのシェアの変遷をまとめる。	60分
第4回	旅行業に関する法令・約款	
	【予習】旅行約款の抜粋を読んでおく。	30分
	【復習】旅行業務におけるトラブル事例と約款について	60分
第5回	旅行業の経営と財務の特徴	
	【予習】経営に関する基本的事項を抑える。	30分
	【復習】旅行業の財務の特徴をまとめる。	60分
第6回	旅行業の業態（旅行業の分類と種別、販売形態、流通形態）	
	【予習】地域における旅行業の販売形態は	30分
	【復習】最近の旅行業の販売形態についてまとめる。	60分
第7回	旅行市場（教育旅行、ハネムーン、クルーズ、MICE etc.）	
	【予習】旅行市場の種類を考える。	30分
	【復習】MICEについてその優位性、効果等をまとめる。	60分
第8回	旅行業と情報社会	
	【予習】スマートフォンでできる旅行の情報収集から予約までの過程を調べる。	30分
	【復習】旅行業におけるデータ、AIの活用について	60分
第9回	旅行業とホスピタリティ（事例から学ぶ）	
	【予習】観光産業におけるホスピタリティとは	30分
	【復習】究極のホスピタリティを考える。	60分

第10回	旅行プランニングの技術、旅行パンフレットを読み解く	
	【予習】海外旅行パンフレットを入手し、内容を検討する。	30分
	【復習】旅行プランニング課題の完成	60分
第11回	ツアーコンダクター、ガイド、ツアーオペレーターの実務	
	【予習】ツアーコンダクターとガイドの仕事の違い	30分
	【復習】それぞれの業務を整理する。	60分
第12回	インバウンド旅行の現状と課題	
	【予習】インバウンド客の行動特性を調査する。	30分
	【復習】地域におけるインバウンド振興を考えてみる。	60分
第13回	社会の進展と旅行業（観光政策 観光行政と旅行業 地域との連携）	
	【予習】自治体の観光課 観光協会について知る。	30分
	【復習】観光分野における産学連携についてまとめる。	60分
第14回	旅行業に求められる人材像	
	【予習】旅行業において必要な知識、適性を考える。	30分
	【復習】社会に求められる人材とは、またそのために学生時代をどのように送るか考えをまとめる。	60分
第15回	旅行業の未来（経営課題と今後の展望）	
	【予習】これまでの学習から旅行業の課題を考える。	30分
	【復習】旅行業についてまとめる。	60分
第16回	試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	課題（授業中および家庭での課題と小レポート）（30%） 授業姿勢（出席状況、積極性、受講マナー）（30%） テスト（期末テスト）（40%）		
使用資料 <テキスト>	プリント対応	使用資料 <参考図書>	授業中、適宜紹介します。
授業外学修等	授業毎の復習で理解を深めてください。また、旅行産業に関する様々なニュース、トピックスに関心を持ち、絶えず情報収集に努めてください。 理解度確認のため、課題やレポートの提出も求めます。		
授業外質問方法	次のメールアドレスに連絡のこと。uradamisa@yahoo.co.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	地域社会と観光			科目コード	G2402L05
英文名	Regional Community and Tourism				
科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際				
職名	非常勤講師	担当教員名	山下 隆司		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	全国各地の観光先進地の実例や観光情報の発信など、観光によるまちづくりの実践を通して、観光そのものの可能性、地域の活性について学ぶ。				
キーワード	観光	地域活性化	ホスピタリティ	ニューツーリズム	情報発信
到達目標	目標 : 富山県の観光について、現状を学ぶ。 目標 : 全国の観光について先進事例を学ぶ。 目標 : 観光を通じた地域活性化の発想と方法を習得する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得				
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス「観光を学ぶ」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	タウン情報誌の見た富山の40年	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	富山県観光の現状と課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	富山市中心市街地活性化と観光の可能性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	観光地はいかに形成されたか？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	観光地が主役のメディア発信とは？	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	グリーン・ツーリズムについて	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	産業観光について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	観光における地域連携	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	まちなか観光を考える	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	NPO法人富山観光創造会議の実践	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	新幹線開業3年目と富山の観光	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	八尾・岩瀬地区の観光	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	アートイベントとまちづくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	まとめにかえて～観光振興がまちづくりに果たす役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	出席(50%)、演習(ミニレポート)の発表点(25%)、修了レポート(25%)		
使用資料 <テキスト>	・観光地パンフレット ・富山市観光資料	使用資料 <参考図書>	歴史と観光 富山近代史の視座(山川出版)
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに要点をメモする。授業後に復習する習慣を身につける。 ・授業の中でテーマに添ったミニレポートを作成する。文章を書く能力を身につける。 		
授業外質問方法	・事務局を通し、質問に答える。		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光と交通			科目コード	G2403L09
英文名	Tourism and Commuting				
科目区分	観光専攻科目 - 観光の実際				
職名	非常勤講師	担当教員名	山崎 正治		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1. 公共交通の現状と社会に及ぼす影響について（都市、地方圏） 2. 鉄道は地域に何をもたらすか。新幹線と在来線の両面について 3. 選ばれる観光地の要因と、それを支える人的資源について 4. 観光資源から見た都道府県の特徴と交通の果たしている役割（毎回授業の最初に都道府県を一つとりあげ、その特徴を解説）				
キーワード	観光	交通	まちづくり	駅	プレゼンカ
到達目標	1. 交通問題を含む諸課題について、現状分析と将来推計に必要な基礎統計の習得 2. 鉄道を中心とした公共交通の重要性とその維持のために必要な施策の理解 3. 観光が地域経済に及ぼす影響と、それを支える人的資源の育て方の理解				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 半年間の講義のサマリーと交通概論、地図の楽しみ方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	交通・観光分析に必要な基礎知識 日本の地理	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	交通・観光分析に必要な基礎知識 富山県の現状と交通・観光面からの課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	交通・観光分析に必要な基礎知識 統計	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	交通・観光分析に必要な基礎知識 プレゼンテーションに必要な要素と手法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	ワークショップ1 プレーストーミングによる交通政策への提案作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	輸送手段の種類と特性、現状と将来 パーソントリップ調査	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	鉄道の役割1 都市圏交通（鉄道がまちを作っていく）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	鉄道の役割2 地方圏交通（鉄道の衰退はまちの衰退）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第10回	日本の鉄道の歴史 国鉄～JRを中心に	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	ワークショップ2 時代とともに変化する観光ニーズを探る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	新幹線が地域に及ぼす影響 先行事例も参考に	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	「駅」の役割と機能 使いやすい愛される駅の条件	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	選ばれる観光地の事例研究1 静岡県富士宮市	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	選ばれる観光地の事例研究2 沖縄県竹富町・石垣市	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	(レポート提出)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	レポート50 出席50%		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・前提事項 特になし ・時間外に必要な学習等 特になし 		
授業外質問方法	E-mail s-yamaz@pd.ctt.ne.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	生活と水環境			科目コード	G3202L01
英文名	Life and the Water Environment				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境系				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p>水は、生活にとって必要不可欠なものであり、また、富山県にとって大きな財産でもある。この大切な水について、基本的性質を知り、生活する上で安全な水の維持管理や水の活用方法について考える。生活水についての基礎的な知識として、自然水の性質、水質汚濁と環境基準、さらに生活排水の汚染の実態、上下水の浄化システム、新しい水の活用等について説明する。</p>				
キーワード	富山の名水	ミネラルウォーター	水道水	下水	水賦存量
到達目標	<p>生活と水について、性質、資源としての重要性を理解する。 飲料水としての水質基準や生活排水の環境基準など安全な暮らしを維持するための環境基準を知る。 富山の水環境の実態を知る。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	平成27年度オリエンテーション くらしと水のかかわりについて述べる	
	【予習】	0分
	【復習】自分のくらしと水の関わりについて最も関心の高い点をまとめる	0分
第2回	水と生体 生命と水について、健康面を中心として	
	【予習】健康と水に関して、印象に残っている体験をまとめる	0分
	【復習】健康と水の関わりで重要な点を整理する	0分
第3回	くらしと水 使う水、おいしい水、富山の名水、飲む水	
	【予習】各自の家庭の水使用量を調べる	0分
	【復習】水の利用について、まとめる	0分
第4回	飲む水 おいしい水、富山の名水、名水百選 など	
	【予習】富山の名水地についてHP調べる	0分
	【復習】実際に2か所名水の地を訪ね、特色を調査する。(課題)	0分
第5回	ミネラルウォーターと飲料水 ミネラルウォーターの成分の違いについて、実際に飲み比べる	
	【予習】	0分
	【復習】ミネラルウォーターの成分と健康の関係について整理する	0分
第6回	ミネラルウォーターと飲料水 ミネラルウォーターの生産、将来	
	【予習】富山で製造されているミネラルウォーターを調査する	0分
	【復習】店頭に並ぶミネラルウォーターについて実際にどれくらいの種類が販売されているか調べる	0分
第7回	水の基本的性質 くらしの中で関係する水の物理化学的性質について、水の起源	
	【予習】高校時代の理科のテキストを参照する	0分
	【復習】くらしの自然現象の中で水に関わる点をまとめる	0分
第8回	水道の歴史 現在の水道の原点を探る	
	【予習】	0分
	【復習】自宅の水道水の処理について確認する	0分

第9回	<p>水質基準（水処理など） 世界の水道について、日本の水質基準について</p>	
	【予習】	0分
	【復習】世界の水事情について調べ日本の実情と比較する	0分
第10回	<p>下水道の歴史と現状 日本の下水道整備の歴史、現在の処理方法について</p>	
	【予習】自宅の下水処理状況を調べる	0分
	【復習】今後の水利用についてどのようにすべきかまとめる	0分
第11回	<p>富山の水環境、生活環境基準 富山県の水環境を世界、日本の各地と比較する</p>	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	<p>新しい水の利用 水について、様々な処理方法、利用について</p>	
	【予習】	0分
	【復習】新しい水の利用について提案する	0分
第13回	<p>地球環境問題と水環境 地球環境問題の中から、水環境の問題を取り上げる</p>	
	【予習】	0分
	【復習】世界の水事情について、地域ごとにまとめる	0分
第14回	<p>水の循環、将来の水需要 水循環から見た将来の水需要を様々な視点から推定する</p>	
	【予習】	0分
	【復習】水利用の在り方について考える	0分
第15回	<p>総括、質問、意見交換 傾向と対策についてお話しします</p>	
	【予習】配布したプリントを持ってくること	30分
	【復習】テスト対策	0分
第16回	<p>試験</p>	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業中の態度・課題（40％）期末試験（40％）フィールドワークにおける調査報告（20％）		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	平成26年度日本の水資源（国土交通省）
授業外学修等	授業画衣における課題については、'各家庭における水使用の調査、名水現地調査を実施し、レポート作成、その他に予習・復習の厳守		
授業外質問方法	授業終了後の空き時間もしくはobata@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	金曜日3時限		

授業科目名	生活環境論（住環境デザイン）		科目コード	G3202L03	
英文名	Living Environment II (Residential Design)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境系				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「生活環境論（後半部分）」「生活環境論」「住環境演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「生活環境論（後半部分）」と「生活環境論」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター資格」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。講義は1回ずつ完結するスタイルで行うため、「生活環境論」を未受講であったり、前回講義を欠席しても、その回の講義は理解できるように進めている。第1回～第15回までの講義予定を下記に示すが、進行状況や内容の更新に伴い変更</p>				
キーワード	世界の住まいの歴史	人間工学	家具・インテリアの	住まいの構造・材料	環境工学
到達目標	<p>目標：世界の住まいの歴史について理解する。 目標：住まいと環境との関係を理解する。 目標：住まいを構成する材料、設備、構造を学び、住まいの計画手法、生産方式を理解する。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第2回	世界の住まい1（古代～ゴシック）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第3回	世界の住まい2（ルネッサンス～近代）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第4回	現代の住まい	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第5回	現代のインテリア	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第6回	人間工学と椅子の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第7回	家具の設計・インテリアの寸法	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第8回	モジュール・住宅の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第9回	モジュール・住宅の設計	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分

第10回	住宅を構成する材料	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第11回	住まいの環境工学（気候・空気・音）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第12回	住まいの環境工学（光・熱・省エネ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第13回	設備機器	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第14回	電気設備・照明・防災設備	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第15回	バリアフリーデザイン	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はWEB上にアップするので、予習・復習に活用することができる。（下記
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メールやLINEにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 4 時限</p>		

授業科目名	資源・エネルギー論			科目コード	G3302L07
英文名	Resources and Energy				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境系				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	1限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	現代社会を支える資源とエネルギーの供給と消費の過程を量的に把握し、食糧と人口との関係にも目を向けた現状と今後の見通しについて考える。そして枯渇性資源から脱却した持続可能な社会を形成するための、再生可能エネルギーの可能性と利用方法について学び、生活との関わりの中での資源・エネルギー感覚を養う。				
キーワード	化石燃料	枯渇性資源	再生可能エネルギー	持続可能性	水素社会
到達目標	<p>目標 : 資源とエネルギーの概念について理解し、現代社会における枯渇性資源の現状と見通しを大局的に理解する。</p> <p>目標 : 再生可能エネルギーの種類と性質、分布と利用方法などについて概要を理解する。</p> <p>目標 : 生活の中での、エネルギー循環のフローとボリュームを理解し、適切な行動ができるようにする。</p>				
ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションとトピックス 本授業の概要を示し、本授業で学ぶ内容と授業の受け方について説明する 資源開発と環境負荷について概要を解説する	
	【予習】新聞やテレビのニュースなどから、再生可能エネルギーに関する記事の一つピックアップして読んでおく	0分
	【復習】再生可能エネルギーの活用することの重要性をまとめておく	0分
第2回	人口変動と高齢化 中国とインドをはじめとする発展途上国の爆発的な人口増加にともなって、世界人口は爆発的に増加している。その一方で、世界に先駆けて日本の人口は減少に転じ、人口ピークであった2010年を境に大きく減り始めた。加えて劇的な速度で進む高齢化の実態にもせまる	
	【予習】日本と世界の国々の人口を調べておく 世界の国を人口の順に10位までリストアップし、おおよその人口が言えるようにしておく	0分
	【復習】将来の年齢層別の人口変動を予測して、2030年と2050年および2100年の高齢化率を計算せよ	0分
第3回	日本のエネルギー問題 実質的なエネルギー自給率が4%と言われる日本において、化石燃料依存性が引き起こす様々な問題について考える	
	【予習】自宅ではどのようなエネルギーを利用しているかについて調査しておく	0分
	【復習】自宅でのエネルギー源別の費用を、月別にまとめ、年間のエネルギー費用を算出する	0分
第4回	枯渇性資源の動向 - 石油 - コリンキャンベルの化石燃料生産曲線を基礎として、世界の石油生産の動向と日本の石油依存性について現状を分析する。さらにに非在来型の石油資源について理解をふかめ、石油の将来と重要性を考える	
	【予習】身の回りの石油製品を10種類ピックアップする	0分
	【復習】「もし日本への石油供給が止まったら・・・」と題して、想像できる社会の姿をA4用紙1枚でまとめてみよう	0分
第5回	枯渇性資源の動向 - 天然ガス - 日本における天然ガス生産の歴史をヒモ解き、天然ガスの世界的動向と日本におけるガス依存性について学ぶ。さらに2010年にIEAが報告した「The Golden Age of Gas」の意味を理解し、非在来型の天然ガスの現状を学ぶ	
	【予習】自宅のガス使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅でのガスの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第6回	枯渇性資源の動向 - 石炭 - 日本における石炭生産の歴史をヒモ解き、石炭の由来や世界的動向について学ぶ。	
	【予習】自宅のガソリン使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅でのガソリンの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第7回	枯渇性資源の動向 - ウラン - 東日本大震災以降、身近な問題として注目をあびる原子力発電について理解を深め、様々な議論が交わされている原子力発電所の是非と日本のエネルギー政策について議論を深める	
	【予習】自宅の灯油使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅での灯油の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分
第8回	二次エネルギーの動向 一次エネルギーと二次エネルギーの概念を整理し、エネルギー資源について理解をする。さらに電力・ガス・熱供給について考え、エネルギー資源との関連性を正しく整理する。	
	【予習】自宅の電気使用量を調査せよ	0分
	【復習】自宅での電気の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	0分

第9回	再生可能エネルギー～風力～ 風力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の風力利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける風力の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】発電機によって電気ができる原理を調べ理解しておく	0分
	【復習】デンマークにおける風力開発の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第10回	再生可能エネルギー～太陽光～ 太陽光のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の太陽光利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける太陽光の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】太陽電池によって電気ができる原理を調べ理解しておく	0分
	【復習】中国における太陽光発電の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第11回	再生可能エネルギー～水力～ 水力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の水力利用の現状を学び、特に富山県における水力の有効性と地域特性を理解する。	
	【予習】水力によって水車が回る原理について調べ理解しておく	0分
	【復習】日本における水力発電（水力開発）の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第12回	再生可能エネルギー～地熱～ 地熱のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の地熱水力利用の現状を学び日本への適用性を考える。特に富山県に豊富なエネルギーとしての温泉の可能性にも注目する。	
	【予習】地熱発電の方法について調べて概要を理解しておく	0分
	【復習】アイスランドにおける地熱利用の歴史と現状およびその特徴についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第13回	再生可能エネルギー～バイオマス～ バイオマスのもつ資源としての可能性について理解し、その特徴、長所や短所、利用方法などについて学ぶ。また67%の森林率を誇る富山県においての森林の有効性と経済性についても理解する。	
	【予習】バイオマスとはどのようなものか、例を挙げながら概要を理解しておく	0分
	【復習】日本の森林利用の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第14回	水素社会に向けた基礎知識～水素とは何か～ 二次エネルギーとしての水素の性質を明らかにし、その製造から利用までの特長や長所・短所について学ぶ。さらに燃料電池をもちいた電力と熱生産の原理と応用について学び、燃料電池車の特長や可能性について理解する	
	【予習】水素自動車の原理について調べて概要を理解しておく	0分
	【復習】燃料電池の原理と仕組みについてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	0分
第15回	水素社会にむけた基礎知識～水素の利用～ 人類が未経験の水素利用社会について、従来のエネルギーとの違いや社会における利用技術と利用者リテラシーなどに注目し、もしかするとやってくるかもしれない水素社会についての理解を深め未来に備える	
	【予習】水素ステーションについて仕組みと問題点について概要を理解しておく	0分
	【復習】水素利用における製造・貯蔵・運搬・利用の技術についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ 並びにこれまでに作成してきたA4用紙半分程度のメモを集大成して一つのファイルにまとめ提出せよ	0分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	課題レポートと期末試験にて評価する。基準以上の出席回数がない場合は試験を受けることができない。		
使用資料 <テキスト>	(特になし)	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料を配布する
授業外学修等	テレビや新聞で報道されるエネルギー関連記事にも注目すること		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：uesaka@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限		

授業科目名	都市空間デザイン	科目コード	G3403L06
英文名	Urban Space Design		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境系		
------	--------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「生活環境論（後半部分）」「生活環境論」「住環境演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「生活環境論（後半部分）」と「生活環境論」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター資格」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。それを踏まえて「都市空間デザイン」では、「生活環境論」で学んだ基礎知識が、実社会における法制度や社会システムの中でどのように生かされていくのかを学ぶ。また、住環境関連産業について学ぶとともに、商品開発の中で</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	住宅市場	住宅産業	建築基準法	品確法	長期優良住宅
-------	------	------	-------	-----	--------

到達目標	<p>目標：住環境産業界を取り巻く最新状況を把握する。 目標：今日的な住環境産業界の問題点を認識する。 目標：上記問題点の解決に向けた将来展望のイメージを持つ。</p>				
------	--	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
-----------	-------------------------	--

カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	
------------	------------------	--

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第2回	日本の住宅市場の現状	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第3回	住宅産業の誕生と成長	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第4回	住宅産業の構造	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第5回	建築関連法制度 1（法規の概要）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第6回	建築関連法制度 2（用途地域と建物の大きさ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第7回	建築関連法制度 3（用語の定義と居室の規定）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第8回	建築関連法制度 4（安全・安心に暮らすための規定）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第9回	品確法 1（概要と構造性能）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分

第10回	品確法2（火災・劣化・維持管理・省エネ）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第11回	品確法3（空気・光・高齢者・防犯・音）	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第12回	その他の法制度	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第13回	住宅産業の最新技術	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第14回	住宅産業の課題	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	2分
第15回	住宅産業の将来展望	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	120分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はLINEやWEBシラバス上にアップするので、予習・復習に活用することが</p>
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義の内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メールやLINEにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 4 時限</p>		

授業科目名	経営戦略論			科目コード	G4302L01
英文名	Management Strategy				
科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略				
職名	講師	担当教員名	伊藤 葵		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	<p>企業は、環境変化に適応するために、経営戦略を策定します。この講義では、経営戦略論における基礎的な概念や理論を説明した上で、経営環境分析、企業戦略、事業戦略、機能別戦略等について学びます。また、具体的な事例なども取り上げながら、企業が実際にどのような経営戦略を行っているのかについても学習します。</p>				
キーワード	経営環境分析	企業戦略	事業戦略	機能別戦略	
到達目標	<p>目標 : 経営戦略における基礎的理論を理解すること。 目標 : 企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているのかを理解すること。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		経営情報に関する専門性の向上		
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】興味のある企業のIR資料や経営ビジョンに目を通してきてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第2回	戦略的思考とは	
	【予習】第1回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第3回	経営戦略論の展開	
	【予習】第2回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第4回	経営環境分析とは	
	【予習】第3回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第5回	企業戦略とは	
	【予習】第4回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第6回	企業戦略とは	
	【予習】第5回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第7回	事業戦略とは	
	【予習】第6回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第8回	事業戦略とは	
	【予習】第7回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第9回	機能別戦略（販売戦略）	
	【予習】第8回授業内で配布した予習用資料を読んできてください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分

第10回	機能別戦略（技術戦略）とは	
	【予習】第9回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第11回	機能別戦略（生産戦略）とは	
	【予習】第10回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第12回	機能別戦略（組織戦略）とは	
	【予習】第11回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第13回	機能別戦略（財務戦略）とは	
	【予習】第12回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第14回	経営戦略の実行	
	【予習】第13回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第15回	総括	
	【予習】第14回授業内で配布した予習用資料を読んでください。	0分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、復習するようにしてください。	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	受講態度および課題への取組み（60％）、期末レポート（40％）		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	寺本義也、岩崎尚人『新経営戦略論』（学文社）
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	情報ネットワーク論	科目コード	G4503L03
英文名	Information Networks		

科目区分	経営情報専攻科目 - 情報システム		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	現在の情報ネットワーク社会はインターネットが基盤である。望ましい活用、発展のあり方、さらにトータルシステムとしての考え方を理解する。			
-------	--	--	--	--

キーワード	ネットワーク	コンピュータ	ソフトウェア	ハードウェア	サーバ・クライアント
-------	--------	--------	--------	--------	------------

到達目標	<p>目標： インターネットの仕組みと、情報セキュリティの問題、そのための種々の技術について理解する。</p> <p>目標： サーバ・クライアントモデルについて、具体例を挙げて説明できる。</p> <p>目標： 将来のインターネット社会、特にEC(電子商取引)とそれにかかわる問題、ビジネス、教育、行政、医療などへの活用についての理解を深める。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)		
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	経営情報に関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	コンピュータと通信の発展過程、デジタル・ネットワークと情報化社会	
	【予習】シラバスを確認する。	10分
	【復習】情報ネットワークの基本知識を確認しておく。	30分
第2回	通信技術、構成と接続方式、LANとWANの仕組み	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ネットワークの動作技術を確認する。	30分
第3回	階層モデル、伝送方式、変調方式、多重化など	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ネットワークの通信方式を確認する。	30分
第4回	マルチメディアと通信の品質、高速化、高信頼化	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】マルチメディア通信技術を確認する。	30分
第5回	OSIモデルとプロトコル、インターネットの仕組み、データ伝送	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットの動作の仕組みを確認する。	30分
第6回	ドメイン名とDNSの仕組み、セキュリティ、ファイヤーウォール	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットの動作の仕組みを確認する。	30分
第7回	暗号、認証システム、EC(電子商取引)	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワークのセキュリティ技術について確認する。	30分
第8回	情報端末、携帯電話、モバイル端末	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワークの利用形態について確認する。	30分
第9回	インターネット活用と社会変革、ビジネス、教育、行政、医療、ユビキタス、ICタグ	
	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】情報ネットワーク化社会について確認する。	30分

	WWWサーバ(HTTP)との通信、POP、FTP、DNSなど各種サーバとの通信	
第10回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ウェブサーバ動作の仕組みを確認する。	30分
	サーバ・クライアント間通信の復習	
第11回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】インターネットサービスの仕組みについて確認する。	30分
	各種CGIシステムの構築	
第12回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】CGIシステムの動作の仕組みについて確認する。	30分
	コラボレーションツールWikiの構築	
第13回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】Wikiツールの動作の仕組みを確認する。	30分
	MovableTypeを利用したSNS構築	
第14回	【予習】配付資料を読んでおく。	15分
	【復習】ブログシステムの動作の仕組みについて確認する。	30分
	まとめと復習	
第15回	【予習】これまでの配付資料を再確認しておく。	30分
	【復習】これまで学んだことを再確認する。課題レポートを作成する。	4分
第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業への参加態度（ミニレポートなど）30%、課題レポート70%		
使用資料 <テキスト>	プリントを配布、必要に応じてスライド表示する。	使用資料 <参考図書>	「マスタリングTCP/IP 入門編 第4版」（竹下 隆史
授業外学修等	15分以上の遅刻は入室禁止。配布されたプリントにて事前学習しておくことが望ましい。インターネットを利用したシステム構築も行なうのでノートPCなどの活用を勧める。		
授業外質問方法	共有ファイルサーバに、授業で配布する講義資料をアップロードします。質問等は、e-ポートフォリオの掲示板やメールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	水曜日 1 時限		

授業科目名	スクールソーシャルワーク論			科目コード	K1503L14
英文名	Theory of School Social Work				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	我が国の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性について学ぶとともに、スクールソーシャルワーカーの価値と倫理、業務と果たす役割、スクールソーシャルワークの支援の基盤となる理論と実際について、ミクロレベルからメゾ、マクロレベルにわたって理解する。				
キーワード	SSW	不登校	いじめ	発達障害	貧困
到達目標	今日の学校教育現場が抱える課題とその実態について理解できる。 これまでのスクールソーシャルワークの発展過程と実践モデルについて理解できる。 スクールソーシャルワークの支援方法について理解できる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く学校の問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く家庭・地域の問題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学校教育現場が抱える課題とその実態 スクールソーシャルワークの導入意義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 ソーシャルワークの視点と定義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 人権と社会正義 / 児童の権利条約	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	スクールソーシャルワークの発展過程 アメリカのSSW発展史	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	海外のスクールソーシャルワーカー 海外のスクールソーシャルワーカーの活動概要と役割	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	スクールソーシャルワークの発展過程 日本のSSW発展史	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	スクールソーシャルワークの実践モデル エコロジカルアプローチ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	スクールソーシャルワークの実践モデル エンパワメント・ストレングスアプローチ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	スクールソーシャルワークの実践事例 ミクロレベル：個別・集団支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	スクールソーシャルワークの実践事例 メソレベル：学校・家庭・地域支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	スクールソーシャルワークの実践事例 マクロレベル：教育行政支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの方法について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの体制について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	これまでの振り返りとまとめ 期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	期末試験(70%)、レポート提出・平常点(30%)を総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 スクールソーシャルワーカーのしごと(中
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。		
オフィス・アワー			